

瀬戸内海・島まるごと体験交流推進事業

概要

過疎・高齢化が進行する中で、地域の活性化を求めるには交流人口を増やし、若者の移住・定住促進につなげることが喫緊の課題であった。

この中で、本町が滞在型体験交流のまちづくりの取り組みを開始し、体験型修学旅行の誘致等も決定したため、具体的な地域資源を掘り起こすと共に、若者のニーズを把握し、交流人口の拡大、定住促進を目指すために事業を実施するものである。

事業の内容

事業の内容

- ・アマモ等の地域資源を活用した、体験プログラムを検討することを目的とした講演会開催
- ・郷土史研究家、高齢者に対し、地域文化等の聞きとりを実施
- ・コミュニティデザイン業務(若者を中心とした島の魅力探し)を実施

総事業費 10.4百万円

ポイント

- 地域資源、瀬戸内海に精通する講師を招聘し、現状分析、活用方法を検討する。
- 文化の伝承のため、専門家を招聘し、聞き書きの基礎を習得する。
- 島内外若者の交流のもとで、島民の取材を中心とした島の魅力探しを実施。

事業の成果

- ・アマモ等の地域資源の認識を高めるとともに、磯場の活用、海を利用したシーカヤックの活用など、体験プログラムを充実させる手法を学ぶことができた。
- ・聞き書き講習を受講し、実際に地域のお年寄りや、郷土史研究家より話を聞き、まとめることで、地域文化伝承の基礎資料を作成することができた。
- ・島内外の若者が中心となって「大崎上島のカッコいい過ごし方図鑑」を製作、定住等に活用できる情報ツールが整備できたと共に、島内外若者の活発な交流が図れた。

広島県大崎上島町

- ・瀬戸内海の中央部に位置する町
- ・基幹産業は柑橘栽培と造船

若者を中心とした島の魅力探し



聞き取り手法の説明



聞き取り風景



図鑑お披露目会

※この他、島内の若者に対するニーズを調査するため、島内若者を中心としたアンケートを実施。